



# 名寄市立大学の窓から

## 名寄市の在宅医療の推進に向けて

### 知への誘い

特別編

保健福祉学部

看護学科

教授

長谷部

佳子



少子高齢化が急速に進むなかで、在宅医療・介護提供体制の構築が検討課題になっています。厚生労働省の「平成30年高齢期における社会保障に関する意識調査」(※1)によると、人生の最後をむかえるときに生活したい場所として、自宅が27.9%、介護施設や高齢者向け住宅が19.4%であったと報告されていました。

「この地域に住んでいるので、こうした地域住民に配慮した体制は、首都圏では望めないものだと思っています。しかし、これから病気になるったりお年を召しても、この住み慣れた地域で安心して暮らし続けるには、さまざまな仕組みを整えていく必要があるでしょう。」

「そこで私も、調査研究事業を通じて、「この地域にお住まいの皆さまや医療従事者の皆さまが、医療・介護・福祉について『心配していること』や『期待していること』、人生の最期に、どこで、どのように過ごしたいかの希望をお持ちかなど」のご意見・ご要望を集約し、終末期医療・ケアの基盤を整えることに役立てたいと考えております。皆さまの率直なご感想、ご意見を、ぜひお寄せくださいますようお願い申し上げます。」

引用文献 (※1) 一般財団法人 厚生労働統計協会：国民衛生の動向・厚生指標 増刊・通巻第1096号。70(9)：174, 238, 2023.

### 上川北部地域医療構想区域における 終末期医療・ケアに対するニーズ調査

調査期間：11月30日(木)まで

この調査は名寄市のほか、上川北部6市町村の住民の皆さまのご協力と医療機関・介護施設にお勤めの方にもご協力をお願いするものです。

【ご協力の方法】

(1) 市民のどなたでも、スマートフォンなどで右のコードまたはURLからご回答いただけます。

回答URL：<https://forms.gle/Ah3gKXX9S78T3gVC9>

(2) 名寄市民の方には、右のコードなどでの回答のほか、市と調査研究

の協力に関する協定を結び、無作為に抽出した世帯に調査票と返信

調査問い合わせ先 [✉nayoro.hismy@gmail.com](mailto:nayoro.hismy@gmail.com)  
 調査代表者連絡先 名寄市立大学保健福祉学部看護学科 長谷部佳子  
 01654④4199(内線3124) FAX 01654③3354  
 共同研究者 齋藤千秋、伊藤亜希子、松倉理江、吉野望



### 名寄市立大学の令和4年度決算状況をお知らせします

収入		金額	支出		金額
運営費	授業料・諸納付金	4億8,644万円	運営費	人件費	10億3,529万6千円
	入学科・受験料	6,144万7千円		物件費・維持補修費・補助費ほか	5億188万9千円
	一般会計繰入金	10億6,519万2千円		備品費	5,539万円
	その他	5,118万6千円	運営経費支出計	15億9,257万5千円	
運営経費収入計		16億6,426万5千円	設備投資	設備投資費	284万9千円
設備投資	国・道支出金	612万5千円		公債費(償還金)	2億365万円
	一般会計繰入金	4,885万2千円		設備投資支出計	2億649万9千円
	その他	8,429万3千円	支出合計額	17億9,907万4千円	
設備投資収入計	1億3,927万円	積立金		金額	
収入合計額		18億353万5千円	今後の大学運営のため(寄附・利子ほか)	368万3千円	
			奨学金基金のため(寄附・利子)	77万8千円	

問い合わせ  
名寄市立大学事務局総務課 [☎01654④4194](tel:016544194)